

新庁舎建設特別委員会第18回のまとめ

新庁舎建設特別委員会

委員会期日 平成29年12月1日 9時00分～9時40分

場所 議員控室

出席委員 ◎丹野貞子 ○木村章一 増川修 大場勇人 漆山光春
松田収作 槇正義 細矢誓子 松田賀好
吉田芳美 石垣光洋 東海林信弘 岡田議長(オブザーバー)

欠席 齋藤隆

説明員 河内総務課長 庁舎建設係 泉課長補佐兼係長 古澤総括主任

事務局 鈴木事務局長

1 委員長あいさつ

今回は町からの要請による委員会です。

まずは説明を聞き、説明に対する質疑というように進めます。よろしくお願ひします。

2 町からこの間の取組みについて説明

河内総務課長 最初に10/30以降の進捗について報告する。

11/1 基本設計業者のプロポーザルを告示し、公募開始。

11/2 庁舎の窓口づくりセミナー(仙台にて)に担当者が参加。

11/8 第5回の庁内3部会を開催。

11/22 基本設計業者のプロポーザルの受付を締め切る。

11/24 庁内の委員会に申し込み業者について報告。

11/27 買収予定用地の境界について、地権者立会のもとで確認。

11/30 3部会の代表と担当が富谷市、大和町を視察。

(12/23の10時30分から、公開でプロポーザルの2次審査会を行う予定。)

3 町からプロポーザル受付結果について説明

総務課長 泉課長補佐 基本設計の代表企業枠には町外の5社が申し込み、町内からはなかった。

町内企業枠には4社から申し込みがあった。

ルールとして、この段階で申し込みした企業名は発表しないことにした。

基本設計についてのワークショップを3回ほど開催する。総人数は30人

程度とし公募で10人、各団体から20人くらいを考えている。

議会からの参加枠も想定しているので、ご検討願いたい。

委員 11/27の境界立ち合いで面積の変更はあったか。

総務課長 なかった。

委員 地質調査はどの段階でやるのか。

総務課長 基本設計の業者が決まったら、その業者から指示を受けてボーリングする調査ポイントを決め、実施する。

委員 基本設計の予定発注額からみると、契約について議決の必要はないのか。

総務課長 5000万円以下を予定しているので、議決は必要ない。

委員 基本設計の内容を町民が検討するワークショップで、座長は誰を予定しているのか。

総務課長 全員を3から4のグループに分け、各グループに記録係を配置して、検討や話し合いをしていただくことを考えている。

委員長 ここで説明員には退席していただく。

4 ワークショップに議会から参加の可否について議論

委員長 町の説明員からは退席していただいた。ワークショップに議会から参加するかどうか、委員で議論してほしい。

委員 是非参加して、話し合いの現場で町民の意見を聞き、この特別委員会に持ち帰って検討するようにすべきだ。

参加するのが基本だ。

委員 参加すればいいというものではない。参加すれば個人として意見を言うことになることは問題だ。議会はこの特別委員会という発言する機会があるので、参加すべきではない。

ワークショップの後で町から話し合いの内容を聞けばよい。

議会が主催するワークショップなら別だが、参加すべきではない。

参加しないとしても、出来るだけ早いタイミングで話し合いの内容を伝えてもらいたい。

委員長 ワークショップに議会からは参加しないという意見が多数だ。

議会からは参加しないことと、できるだけ早いタイミングでワークショップの内容を特別委員会に伝えてもらうように申し入れる。

5 議会からワークショップに参加しないと町側に伝えた

議会としては、ワークショップに議会からは参加しない、できるだけ早いタイミングでワークショップの内容を特別委員会に伝えてほしい、と申し入れた。

以上